

令和2年度 学校評議員アンケート結果について

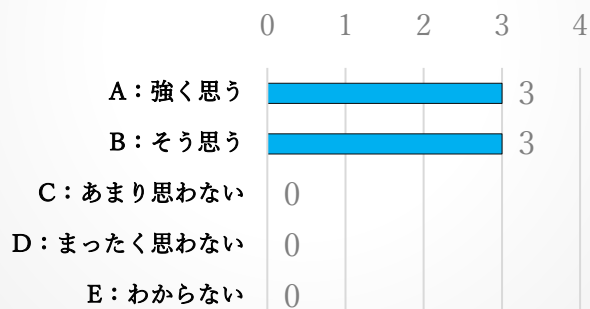
① 学校の教育は地域に理解され、その期待に答えていますか。



② 特別支援学校としての専門性は、十分に発揮されていますか。



③ 児童生徒の進路希望の実現に向けた取組は、十分になされていますか。



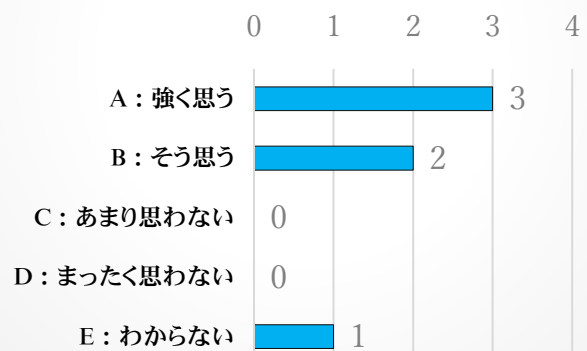
④ 地域との交流（学校間交流や地域の取組に参加する等）に取り組んだり、地域とのつながり貢献する活動を進めたりしていますか。



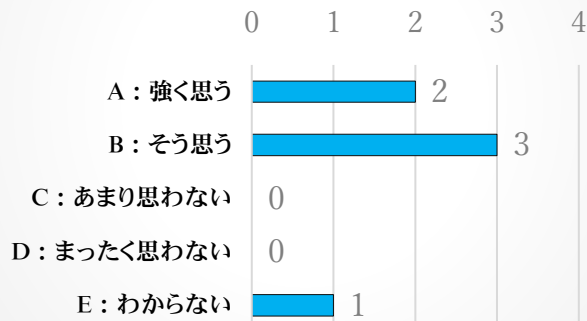
⑤ 学校評議員、他の学校、福祉、医療、行政、労働機関等、様々な関係者との連携やネットワークづくりに努め、学校運営や教育活動に生かそうとしていますか。



⑥ 児童生徒の健康や安全に対する指導は、適切に行われていますか。



⑦ 災害時の対策や不審者への対応は、十分なされていますか。



⑧ ホームページや学校便り等の広報活動や情報開示は、十分になされていますか。



《御意見》

○地域で開催される行事、例えば祭りや、グラウンドゴルフ等に参加されることをお勧めします。ただ、休日開催が多いです。

○今年度コロナ感染対策で交流の場がほとんどもてませんでした。しかし、運動会のメッセージ交流をとおして、温かさを感じました。できることを工夫し、0(ゼロ)にしないことは大切です。池内小学校の裏山(希望ヶ丘)登山もスタートされ、来年度は小学生と共に楽しめるとよいです。整備をお世話になっている地域の方も喜ばれると思います。豊かな環境資源の活用、温かな心のふれあいは、長い交流の歴史です。次回に児童の作文を持っていきますね。

○地域の理解は、共に活動して初めて本物になるように思います。例えば、大根やハクサイ作りなど、種(苗)から収穫(調理し、食べる)までの作業が指導を受けながら一緒にできるといい。決められた教育課程の中でやることは難しいとは思いますが。大事なことは、子どもがお客さんにならないようにすることだと思います。準備してもらい、そこに参加だけするような。自分の育てている野菜のそばに自分の名札を立て、草取りや肥料やりも含め、自分なりに育てる。子どもは、自分が関わることで、気づきや思いや考えをより豊かにもてると思います。また、地域の人も、そういう姿を見たら、子どものために動いてくれるし、理解もしてくれると思います。